

## ミズナラの森フェスタへの出展報告

令和7年10月11日（土）・12日（日）の2日間、白神山地ビジターセンター（西目屋村）のイベント「第37回ふれあいデー」内で白神オークプロジェクトが企画する「ミズナラの森フェスタ」に林業研究所が出展し、県内の森林に拡大しているナラ枯れ被害に関する情報を発信しました。

ナラ枯れは、ミズナラやコナラなどのナラ類の樹木が枯れる病気です。林業研究所のコーナーでは、ナラ枯れの病原菌を運ぶ小さな昆虫カシノナガキクイムシの実物標本や、被害を受けた木のサンプルを展示したほか、森や樹木に関するクイズを行い、来場者に楽しみながら森林の保全と利用について学んでもらいました。

当日は、ナラ材を使用した家具の展示、組子細工の体験、林業アカデミーの紹介、たき火による棒パン作りなどのコーナーが並び、移動式製材機の実演、ミュージシャンによるライブ演奏なども行われ、家族連れをはじめ、多くの来場者に来ていただきました。

### 主催者（白神オークプロジェクト） による開会挨拶



実物を観察しながらクイズに挑戦



樹木医によるクイズ解説



### 林業研究所展示ブース



媒介虫の標本や痕跡を観察



製材作業の実演

